

ごあいさつ

日頃より、母親委員会の活動に、ご理解とご協力いただきましてありがとうございます。
また、単位PTAにおかれましても活発な活動をしていただき感謝申し上げます。



今年度は、「いのちの尊さ大切さ」のテーマのもと、子どもに必要なのは一番身近な親の愛情やスキンシップではないかと考え、子どもと親のかかわりの大切さを考えながら活動してまいりました。

また、お母さん同士のつながりが重要と考え、情報交換に重点を置き、子どもたちの抱えている課題について話し合ってまいりました。出していただいた課題の中から、拡大母親委員会は山形市PTA連合会のいのちの大切さ学習会と合同で、「子どもの人生を守る 生きるためのこころの教育（性教育）を考える」と題して、性教育と子どもの恋愛についての研修をいたしました。研修に参加していただいた方には、是非、子どもだけでなく、参加できなかった方々にも話を広げ、親子のつながりや親同士のつながりを広げるきっかけにしていただけたら幸いです。

母親委員会は、今後も皆さんと共に学び、様々な活動に生かしていく様子を努めていきたいと思います。

山形市PTA連合会 母親委員長 高見佳澄

山形市立 明治小学校

7月19日、教育講演会を開催いたしました。eネットキャラバンの男澤亨先生を迎えて、「インターネットの安心安全な使い方」をテーマに講話をいただきました。子どもにとっては新しいゲーム感覚で使用し、日常必須アイテムになってしまったスマホやPC。親はデメリットを把握し管理する責任について、しっかり勉強できる良い機会になりました。質問者も多く、関心の高さも伺えました。良い講演会になったと感じています。

【母親委員長 原田真希子】

山形市立 金井小学校

9月18日に「姿勢改善エクササイズ」という講座を行いました。講師の先生をお招きし、基本のストレッチで体をほぐしたり、音楽に合わせて動いたり、バンドを使ってエクササイズや筋トレをしたり、内容盛りだくさんで、おもいっきり体を動かし、汗をかきました。講座の最後の方には身体に関する質疑応答の時間も取って下さり、心身共にリフレッシュさせていただきました。

【母親委員長 阿部亜沙美】

山形市立 大郷小学校

6月から3月まで月一回読み聞かせを行っています。11月は学校の読書週間のため、2回行いました。ボランティアも募り、季節に合わせた絵本などを子どもたちと一緒に楽しんでいます。母親同士でおすすめの絵本について情報交換したり、子どもの反応について話が盛り上がったり、楽しいひとときとなっています。

また11月の学習発表会終了後にバザーを行いました。みなさんに提供していただいた品物の中には、手作りの物や掘り出し物もあり、行列ができるほど盛況でした。

【母親委員長 石川陽子】

各学校の活動紹介

山形市立 第六中学校

毎年3回、母親委員会だより「はぐくむ」を発行しています。リサイクル回収を1年通して行い、10月の文化祭に合わせてリサイクル品の販売を行いました。今年度多くのリサイクル品の提供があり、また購入を希望する保護者も増え、この活動も根付いてきたと実感しました。11月に開催した「筆ペン講座」では、色彩アート書道家の未来先生を招き、字を書く事の楽しさを学びながら、リラックスした自分の為の時間を過ごす事が出来ました。



【母親委員長 黒田修子】

第2回定例会 ワールドカフェ



7つのテーマで各ブースに分かれて
お茶を飲みながら話しました。

友人とのネットトラブル

通信機器に対する親の知識や監視の強化が必要。

コミュニケーションが苦手な子どもの増加。

親子の
信頼関係が
改善のカギ

いくつに
なってもなで
なでして♥

食品について 気をついていること

食事とは心と身体をつくるもの。ただ食べるのでなくどんな食材を選び与えるのかが大切である。

食事を変え
たらアトピー
が治った！

父親の存在
は大きいです
ね!!

性教育

SNSで始まる恋愛も今では普通になってきているそうで…。若さ故の本能に任せた行動で後悔しないように、親として子を影から見守っていくことは必要と感じました。ところで海外では“成人コーナー”という括りが無いとのこと。認識も国によって違うようです。

親子で気軽
に話ができ
たらいいな♥

家族に
もうちょっと
頼っちゃおう
かな♥

年代にあわせた 愛情表現・言葉

中高生になっても愛情を伝えられることは、まんざらでもないようです。何かができるから我が子がめんごいわけではない。どんな時も「めんごいなあ～」っていうことを伝えていきたい。

母親の健康

お母さんは自分の体のことはついつい後回しに。でも、お母さんが元気じゃないとみんなが困っちゃう。一人で抱え込まずに、周囲に頼ってみたら、意外と助けてもらえるものなのかも…。

様々な相談機
関があるので、
一人で悩まず、
誰かに相談して
みよう！

不登校

理由や原因、症状は様々。学校に行くだけがゴールではないかもしれない…。焦りは禁物、その子に合った解決方法はきっとあるはずです。

父親に期待すること

共働き世帯の増加に伴い、家族の形も変化してきています。家庭と仕事を両立していくお母さんの頑張りは100%以上！やはりお父さん・祖父母の協力が大事かもしれません。



このワールドカフェの最後に、アンケートをとりました。その結果、「性教育」について知りたい方が多かったため、拡大母親委員会のテーマとして取り上げることになりました。

子どもの人生を守る 生きるためのこころの教育（性教育）を考える

《講師》 渡會 瞳子（わたらい むつこ） 氏

《プロフィール》宮城大学大学院 東京大学医学部研究生 首都大学東京博士後期課程卒業
平成6年に保健師として山形県酒田保健所で精神保健福祉担当、平成8年に村山保健所において結核や感染症、HIV / AIDS 等難病担当として勤務。その後、山形県保健医療大学を経て現在、東京医療保健大学医療保健学部看護学科の教授としてご活躍されている。



性 という字は・・・

りっしんべん（心） & 生きる

性教育は、
生きるための心を学ぶ教育

◇ 性教育の基本は

家族 ◇

家族が話し合い、問題解決をしていく姿をみせる。

- コミュニケーション能力を高めることができる。
- 性感染症・人工中絶・DV・いのちの軽視・虐待・不登校・いじめ等の予防になる。

◇ 自己肯定感 ◇

心身が複雑に発達する思春期を乗り切るために、自己肯定感【自己の否定的な側面もふくめて、自分が自分であっても大丈夫という感覚】が必要。

9歳の頃は、自己肯定感と同時に、劣等感も持ちやすい時期。実社会への興味・関心をもつききっかけづくりを通して、将来を想像し自己を肯定していく関わりが必要。

豊かな人間形成に向けて、心と体のバランスの良い大人に成長できるように、支援ていきましょう！



◇ 性感染症 ◇

- ①キスでうつる病気

梅毒・性器ヘルペス・

伝染性单核球症←回し飲みでもうつる

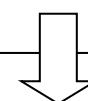
- ②AIDS患者・HIV感染

年々、増加傾向。

早期発見・早期治療を。

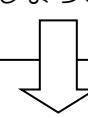
- ③クラミジア

自覚症状は軽い場合が多いが、放置すると不妊の原因に。



★女の子は、お母さんになる自分の身体を守りましょう。

★男の子は、女の子の体を大切にしなければならない責任を持ちましょう。



☆経済的・精神的・性的・生活上、十分自立するまで性行為をしないという選択肢が必要であることを伝えましょう。

子どもも大人も将来の自分を大切に！！
性教育は、亡くなるまで続きます。



【感想】 「性教育」というと、おそらくほとんどの方が、どこか恥ずかしいイメージをお持ちになるのではないか。

当日、会場にいらしたお父さんからは「自分は場違いじゃないか」「どんな顔をしてお話を聞こうか」などの声もありました。

しかし、この講演を聞いて誰もが、とても大切なことに気づかせてもらえたと思います。性教育の基本は「家族」です。何気ない普段の生活を送りながら、父として母として、家族の一員として話し合い、支え合っていく姿を子どもたちに見せることが、家庭における性教育の第一歩であると感じた講演会でした。

『親学』家庭教育視察研修

東根市公益文化施設まなびあテラス



◆まなびあテラス◆

市民や地域を支える情報拠点としての図書館、市民利用のギャラリーを基本としながらも本格的な芸術文化を堪能できる美術館、団体活動やサークル活動の情報拠点となる市民活動支援センターの3つの機能を持つ全国でも珍しい複合施設です。兵庫県や福岡県などからも視察に訪れるそうです。H30年11月で2周年を迎え、来館者は59万人を超えていました。館内は広々とした開放感あふれる空間で、どこでもWi-Fiが使え、飲食可能なスペースやレスト



ランもあり、まさに『自由な空間』でした。また“デジタルサイネージ”という手をかざすだけで調べたり、遊んだりすることができる大きなパネルが、子どもたちにはとても人気があるとのお話をしました。視察に行った日は、市民活動の部屋で、東根市民に限らず参加可能な石鹼作りのワークショップが行われていました。

◆図書館◆

図書館というと飲食厳禁といったところが多いと思いますが、ここは館内のカフェで購入した飲み物やペットボトル等を持ち込むことができます。本棚が低く設置されているため見通しがよく、外の椅子や庭などに出ることもできるので、飲み物片手に本に親しみながら1日ゆっくりと過ごしたくなる空間でした。

子どもと大人でスペースを分けているだけではなく、ティーンズコーナーもあり、年代別に本が探しやすくなっていました。貸出用のiPadが20台あるほか、学習室やパソコンが使用できる部屋も充実しており、学生の利用も多いそうです。ICタグで一度に10冊まで貸出本の情報を読み取る“自動貸出機、投函すると自動で返却本の情報を読み取る、“返却ポスト”など最新の設備がスムーズな利用に結びついているようでした。また、Webでの貸出予約や返却延長ができるだけでなく、玄関外には小さいロッカーのような形の“時間外ポスト”が10個あり、仕事などで開館時間内に来ることができない方々に喜ばれているそうです。

近代的な設備で驚きの連続でしたが、最後に館長がおっしゃられた“自由でのびのびした利用ができるように心がけている”という言葉の通り、スタッフの方々のおおらかで温かい気持ちが溢れている施設でした。



山形市PTA連合会 母親委員会の主な活動報告

活動テーマ 「いのちの尊さ大切さ」～かかわる喜び つながる心～

○定例母親委員会(年3回)

第1回 母親委員会(5/8) 今年度の活動計画・情報交換

第2回 母親委員会(7/3) ワールドカフェ

第3回 母親委員会(2/18) 今年度の反省・情報交換

○「親学」家庭教育視察研修(10/17) 東根市公益文化施設まなびあテラス視察

○拡大母親委員会(11/17) 講演:「いのちの大切さ学習会～性教育と子どもの恋愛～」 講師:渡會 瞳子氏

○母親委員会だより 「マザーズねっとわーく」 No. 23 3月発行

一年間、母親委員会の活動にご理解とご協力を頂きまして、ありがとうございました。(運営委員一同)

平成30年度 運営委員会 ●委員長：高見 佳澄(山寺小中) ●副委員長：渡辺 智子(第十中) 渡邊 玲子(桜田小)

●運営委員：菊地 良子(第二中) 酒井 淳(高橋中) 黒澤 珠妃(藏王一中) 有路 美紀(南小) 半沢 忍(滝山小)